＜様式1＞

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	N50°
グループの名称	フロンティアspirits北海道
直近採択グループ番号	04-0780-0012

（グループ代表者）

代表者名	渡辺　博俊　代表者印
代表者所属先	株式会社わたなべ建築工房
代表者所在地	北海道石狩郡当別町緑町
代表者電話番号	0133-22-2141

（グループ事務局）

事務局事業者名	株式会社わたなべ建築工房
事務局担当者名	渡辺　博俊　印
事務局郵便番号	061-0228
事務局所在地	北海道石狩郡当別町緑町259-8
事務局電話番号	0133-22-2141
事務局FAX	0133-22-2142
事務局担当者E-mail	frontierhokkaido@gmail.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	N50°
２．グループの名称(必須)	フロンティアspirits北海道
３．直近採択グループ番号(必須)	04-0780-0012
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	北海道
５．結成年(必須)	2012　年
６．グループ代表者名(必須)	渡辺　博俊
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社わたなべ建築工房
８．グループ代表者所在地(必須)	北海道石狩郡当別町緑町
９．グループ代表者電話番号(必須)	0133-22-2141
１０．グループ事務局事業者名(必須)	株式会社わたなべ建築工房
１１．グループ事務局担当者名(必須)	渡辺　博俊
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	061-0228
１３．グループ事務局所在地(必須)	北海道石狩郡当別町緑町259-8
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0133-22-2141
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0133-22-2142
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	frontierhokkaido@gmail.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ. 原木供給	0	海外産の木材の場合、原木供給は構成員に含まない。
Ⅱ. 製材・集成材製造・合板製造	0	海外で製材されている場合、製材事業者は構成員に含めない。
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	6	ルートによっては建材流通を含まない場合がある。
Ⅳ. プレカット	3	手刻み加工の場合、プレカット事業者は含まない。
Ⅴ. 設計	8	
Ⅵ. 施工	8	
Ⅶ. 木材を扱わない流通	0	
Ⅷ. Ⅰ～Ⅶ以外の業種	1	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	全国		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	全国		2	国内
	□　FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内
	使用する地域材は必須項目です。				

B．平成２９年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型（長期優良住宅） **経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		20	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	20	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		申請が未確定（上限100万円）		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）	0	戸
	長寿命型（長期優良住宅） **未経験**工務店による申請戸数	申請が確実（上限100万円）		7	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	7	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	3	戸
		申請が未確定（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型 （認定低炭素住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）		6	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	6	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		申請が未確定（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）の申請戸数	申請が確実（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限100万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **経験**工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	申請が確実（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		申請が未確定（上限150万円）			戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）		戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー） **未経験**工務店（4戸（8戸）未満）による申請戸数	申請が確実（上限165万円）		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
		申請が未確定（上限165万円）		0	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定（上限20万円）	0	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定（上限30万円）		戸

C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実		棟
				㎡
		申請が未確定		棟
				㎡

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	基本的には1社1棟を配分した後、申請が確実な物件のある構成員に優先的に配分していく。

E. 平成２８年度の執行状況（必須）

長寿命型（長期優良住宅）

当初予算	採択戸数	14	戸	交付申請戸数	14	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	14	戸
補正予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸

高度省エネ型（認定低炭素住宅）

当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）

当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）

当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸
補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸

優良建築物型

当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸
当初予算	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由
海外産の木材の場合、原木供給は構成員に含まない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由
海外で製材されている場合、製材事業者は構成員に含めない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由
ルートによっては建材流通を含まない場合がある。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ. 建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
1	Ⅲ － 9	高橋産業　株式会社		003-0027	北海道札幌市白石区本通20丁目北1番72号	011-861-1222
1	Ⅲ － 10	株式会社　ノムラ		070-8003	北海道旭川市神楽3条2丁目2番9号	0166-61-3611
1	Ⅲ － 11	村山木材　株式会社		073-0133	北海道砂川市東三条南4丁目2-5	0125-52-4371
1	Ⅲ － 14	不動木材　株式会社		003-0029	北海道札幌市白石区平和通10丁目北7番35号	011-861-9326
1	Ⅲ － 18	北見第一木材　株式会社		099-0878	北海道北見市東相内町675番地の3	0157-36-2421
1	Ⅲ － 19	株式会社　イワクラ		059-1374	北海道苫小牧市晴海町23番地1	0144-55-6811
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －				

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由
手刻み加工の場合、プレカット事業者は含まない。

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
1	Ⅳ － 9	高橋産業 株式会社		003-0027	北海道札幌市白石区本通20丁目北1番72号	011-861-1222
1	Ⅳ － 10	株式会社 ノムラ		070-8003	北海道旭川市神楽3条2丁目2番9号	0166-61-3611
1	Ⅳ － 18	北見第一木材 株式会社		099-0878	北海道北見市東相内町675番地の3	0157-36-2421
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
1	Ｖ － 1	株式会社　わたなべ建築工房		061-0228	北海道石狩郡当別町緑町259－8	0133-22-2141	○	
1	Ｖ － 2	豊栄建設　株式会社		060-0005	北海道札幌市中央区北五条西11丁目15番地4	011-219-5855	○	
1	Ｖ － 3	株式会社　小林プランニング		067-0051	北海道江別市工栄町3－5	011-383-3217	○	
1	Ｖ － 4	株式会社　アーバンガーバン		060-0908	北海道札幌市東区北八条東3丁目1－1	011-594-8752	○	
1	Ｖ － 5	株式会社　竹中組		079-0463	北海道滝川市江部乙町東10丁目13番5号	0125-75-2407	○	
1	Ｖ － 6	株式会社　伊藤建業		084-0913	北海道釧路市星が浦南1丁目5番12号	0154-52-0368	○	
1	Ｖ － 7	株式会社　アーバンハウス		090-0803	北海道北見市朝日町43番30	0157-22-7787	○	
1	Ｖ － 8	株式会社　石山工務店		070-0024	北海道旭川市東4条8丁目1番15号	0166-22-1480	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							8	○	○
1	Ⅵ － 1	40248	株式会社 わたなべ建築工房		061-0228	北海道石狩郡当別町緑町259－8	0133-22-2141	○	
1	Ⅵ － 2	40067	豊栄建設 株式会社		060-0005	北海道札幌市中央区北五条西11丁目15番地4	011-219-5855	○	
1	Ⅵ － 3	40055	株式会社 小林プランニング		067-0051	北海道江別市工栄町3－5	011-383-3217	○	
1	Ⅵ － 4	40174	株式会社 アーバンガーバン		060-0908	北海道札幌市東区北八条東3丁目1－1	011-594-8752	○	
1	Ⅵ － 5	40216	株式会社 竹中組		079-0463	北海道滝川市江部乙町東10丁目13番5号	0125-75-2407		○
1	Ⅵ － 6	40008	株式会社 伊藤建業		084-0913	北海道釧路市星が浦南1丁目5番12号	0154-52-0368	○	
1	Ⅵ － 7	40173	株式会社 アーバンハウス		090-0803	北海道北見市朝日町43番30	0157-22-7787	○	
1	Ⅵ － 8	40171	株式会社 石山工務店		070-0024	北海道旭川市東4条8丁目1番15号	0166-22-1480	○	
	Ⅵ －								
	Ⅵ －								
	Ⅵ －						

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成28年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	○	○			
1	Ⅵ － 1	40248	株式会社 わたなべ建築工房	3 戸	1 戸	2 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 2	40067	豊栄建設 株式会社	260 戸	245 戸	1 戸	3 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	○
1	Ⅵ － 3	40055	株式会社 小林プランニング	2 戸	5 戸	1 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○				
1	Ⅵ － 4	40174	株式会社 アーバンガーバン	9 戸	10 戸	5 戸	5 戸	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 5	40216	株式会社 竹中組	12 戸	12 戸	4 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	○
1	Ⅵ － 6	40008	株式会社 伊藤建業	48 戸	50 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	
1	Ⅵ － 7	40173	株式会社 アーバンハウス	12 戸	12 戸	9 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
1	Ⅵ － 8	40171	株式会社 石山工務店	63 戸	67 戸	0 戸	0 戸	7 戸	5 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○			○	○
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 20	株式会社 フォーラム・ジェイ		175-0082	東京都板橋区高島平9-8-2	03-5920-7050
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）N50°	（地域型住宅供給対象地域）北海道
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）フロンティアspirits北海道	（結成年）2012 年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0780-0012	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅）の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	1.断熱等性能等級4を標準とし、その上でUA値0.4以下を標準とする。 2.躯体完成時のC値を0.4以下を標準性能とする。 当グループの地域型住宅「N50°」のコンセプトである「北緯50°でも快適な住宅」の実現においては、優れた断熱性・気密性が重要だと考える。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	1.木造枠組壁工法による住宅を標準とする。 耐震性・耐火性・断熱性・気密性・防音性に優れた木造枠組壁構法による住宅は、北海道において戸数・シェアともに全国№1となっている。それはつまり最も北海道の気候・風土に適した建て方だと言える。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	1.住宅タイプに関わらず節水型トイレを標準使用する。 2.住宅タイプに関わらず一次エネルギー消費量等級5の基準をクリアする。 気候風土に根差したルールではないが、昨年同様上記共通ルールを設定する事で「N50°」の性能は、市街化区域においてはそのまま低炭素住宅の認定を取得する事が可能になる。それによってエンドユーザーの選択の幅を広げるとともに、“低炭素化”という北海道に限らず、地球規模で求められている考え方に根差した住宅の提供を実現する。	◎
④ ①～③の背景	当グループは上述の通り「北緯50°でも快適な住宅」をコンセプトに、平成24年度地域型住宅ブランド化事業から活動を開始し、28年度グリーン化事業も含めた5年間の活動で、81戸の地域型住宅の提供を行っている。 「N50°」は元々、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の認定基準をクリアしていたが、グリーン化事業の拡大に伴って、需要の拡大も予想される事から、グループとしての供給体制を整え、エンドユーザーのニーズに応えていく。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的な住宅生産体制の整備

【平成29年度対応方針】				◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない ■ 行っている→ 内容:	1.木造枠組壁構法による住宅を標準としている為、用材の寸法は規格化されている。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている→ 内容:	1.発泡ポリウレタン製断熱材の使用。 2.枠組み壁工法における外壁パネルの規格（仕様）の統一。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている→ 内容:	1.各種共通ルールにおいて、住宅の性能、用材や建材の標準仕様を設定している。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない ■ 行っている→ 内容:	1.全道にまたがるグループである事から、資材調達の共同化は現時点において難しい為、具体的なルールは設定してない。ただしゆくゆくは一部の資材においての供給ルートの統一化等を視野に入れて、体制を整えていきたい。	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている→ 内容:	同上	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている→ 内容:	1.現時点での委員会の設置は予定していないが、上記②-1、②-2の取組（目標）を達成するにあたって、各社の受注の状況等について、情報共有できる仕組みを構築している。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容:	1.上記②・③の取組を実施するにあたって、中心的な役割（各社の受注状況の把握、情報共有の為の情報発信等）を担っている。	○
b.	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容:	1.枠組壁工法を用いた住宅の省令準耐火構造。 2.基礎断熱の全棟実施。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容:	1.気密測定の全棟実施。また共通の書式での性能報告書の発行。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容:	1.規格（仕様）を統一した枠組壁工法用外壁パネルについて、出荷工場から共通の書式にて出荷証明書を取り寄せている。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容:	1.グループ共通のパンフレットの作成・配布。 グループの取組、地域型住宅の特徴等を記載したパンフレット作成・配布し、グループの認知度・信頼性の向上を図っている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）N50°	（地域型住宅供給対象地域）北海道
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）フロンティアspirits北海道	（結成年）2012　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0780-0012	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	1.長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅の種別に関わらず、30年間の住宅履歴情報管理を行う。			◎
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：1.長期優良住宅、認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅の種別に関わらず、30年間の住宅履歴情報管理を行う。	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：1.指定サービス機関「株式会社フォーラム・ジェイ(機関コード0002)」	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：1.情報サービス機関発行による住宅履歴情報証明書。	◎
	② メンテナンス基準の整備				
	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：1.グループとして共通の定期点検時期を設定。エンドユーザーに事前案内を通知することでスムーズなメンテナンスを実現する。また、共通の点検基準と、専用点検シートを作成しそれを以って引渡後の住宅の点検を行う。	◎
	②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：同上	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：1.住宅履歴への蓄積。	◎
	③ 住まいの管理				
	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：1.引渡後の住宅について、日々の暮らしでできるメンテナンス方法等について記載した小冊子を作成し、配布する。施工店による点検だけではなく、住まい手の日々のメンテナンスが重要であることを訴えていく。	○
	③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：1.活動エリアが全道に渡っている為、グループ共同での体験会等の実施は難しいが、完成見学会を始め、各施工メンバーが自主的にセミナーやイベントの開催に取り組んでいる。	○
	③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：同上	○
	④ 維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：1.維持管理の実施に当たり、情報サービス機関をグループ構成員に登録。積極的に情報交換する事で、グループ構成員、そしてエンドユーザーの意識向上を図っている。	◎
	⑤ その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：1.グループ内施工店によるセーフティネットを構築する。 万一グループ内にて構成員の廃業等が発生した場合、同地域における他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテンナンス等のサポートを実施する。情報サービス機関の協力のもと、保管されている住宅履歴情報も活用し、スムーズな引継をはかる。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：1.定例会において情報交換の場を設けている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

エ．グループの技術力の向上

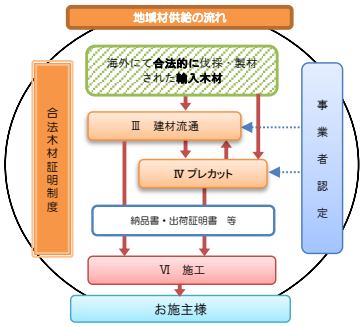
【平成29年度対応方針】					◎、○記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：1.当グループにおいては長期優良住宅未経験の施工会社は存在しない。認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の経験が無い会社は存在しているが、一次エネルギー消費量の計算も含めて、エンドユーザーが求めればすぐに対応できる体制が整っている。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：1.当申請書に記載している各種の共通ルールが、品質の向上と管理に繋がっている。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：1.構成員による共通ルールの自主チェック結果や、図面・検査記録書等を、必要に応じて提示できる体制を取っている。	◎
	③-1 需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：1.過去の建築実績から、北海道におけるエンドユーザーの需要傾向を予測し、供給計画を立てている。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：1.長期優良住宅だけではなく低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の積極的な提供をしていく。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：1.上記①に記載した通り、現時点では認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅の施工経験の無いメンバーも存在している。全施工メンバーが認定低炭素住宅の施工を経験できるよう活動していく。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 32	今年度の参加目標人数	既に全構成員が、設計・施工、両方の講習会を終了している。	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数	今年度の参加目標人数	請負技能者については流動的な為、具体的な数値目標等を立てるのは難しい。	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：1.講習会の日程が発表され次第、エリア、参加状況（設計・施工）に合わせて、各メンバーに開催日の連絡を行い、受講忘れを防ぐ。	◎
c	① 新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：1.資材メーカーに協力を仰ぎ、2～3ヵ月に一度程度の頻度で、最新の住宅設備に対しての情報交換会を行っている。	○
	② 新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：1.上記C-①等で得た、最新設備について、有用であれば積極的に取り入れ、エンドユーザーに提案している。 実際に使用した場合は、定例会において発表の場を設けるなどして情報共有していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）N50°	（地域型住宅供給対象地域）北海道	
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）フロンティアspirits北海道	（結成年）2012 年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0780-0012		

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	1.合法木材証明によって合法性が証明された合法木材を、主要構造材に使用する。樹種・産地等は問わない。 2.主要構造材における具体的な使用箇所や使用量、使用割合については設定しない。 基本的にグループに参加している構成員より供給された木材を使用している為、実際の利用状況は下記①・②となるが、申請事務の合理化の為、当グループは昨年同様上記2点をグループにおける地域材利用に関する共通ルールとする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　□ 50%以上　■ 80%以上	○
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：□ 使用していない　■ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	【補足】地域型住宅の地域材供給の流れについて ・原産国が海外の木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社の特定が困難である。従って、原木供給者、製材会社はグループ構成員に含まない。 地域材については、流通グループ又はプレカットグループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。 ・一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。 ・一部の施工グループの構成員においては、製材済みの材料を現場加工にて使用する為、プレカット会社を使用しない場合がある。  	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：1.グループ内に事業に関する相談窓口を設置。相談受付だけではなく積極的に情報発信を行う事で、地域材情報を含め、より効率的に情報を共有する。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：1.グループ内に事業に関する相談窓口を設置。相談受付だけではなく積極的に情報発信を行う事で、地域材情報を含め、より効率的に情報を共有する。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：特に設定しない	
c	①-1 畳の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：1.ユーザーニーズと合致しない可能性もある為、内装・意匠に係る共通ルールは設定しない	
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：1.ユーザーニーズと合致しない可能性もある為、内装・意匠に係る共通ルールは設定しない	
	①-3 襖の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：1.ユーザーニーズと合致しない可能性もある為、内装・意匠に係る共通ルールは設定しない	
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：1.ユーザーニーズと合致しない可能性もある為、内装・意匠に係る共通ルールは設定しない	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：1.道産又は国産の木材を何らかの形で地域型住宅に使用する。“地域材としてでは無いが”道産材又は国産材の利用を共通ルールとし、地域産業に貢献していく。ただしエンドユーザーの意向を第一とし、共通ルールが地域型住宅普及の足枷にならないように使用箇所や使用量については設定しない。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：1.ユーザーニーズと合致しない可能性もある為、内装・意匠に係る共通ルールは設定しない	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：1.ユーザーニーズと合致しない可能性もある為、内装・意匠に係る共通ルールは設定しない	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：1.道産又は国産の木材を何らかの形で地域型住宅に使用する。“地域材としてでは無いが”道産材又は国産材の利用を共通ルールとし、地域産業に貢献していく。ただしエンドユーザーの意向を第一とし、共通ルールが地域型住宅普及の足枷にならないように使用箇所や使用量については設定しない。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：自主的に各地域のガイドラインについて勉強を行い、各員が景観ガイドラインへの適合をに努めていく。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：1.ユーザーニーズと合致しない可能性もある為、内装・意匠に係る共通ルールは設定しない	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成29年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） N50°	（地域型住宅供給対象地域） 北海道	
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） フロンティアspirits北海道	（結成年） 2012 年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	04-0780-0012		

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※） 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。